

東伊教第 277号
令和7年9月 4日

フレンド会代表
[Redacted]

東伊豆町長 岩井茂樹

東伊豆町教育長 横山尋司

東伊豆町小中学校及び稲取高校の統合に関する嘆願書について（回答）

処暑の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、町政にご理解とご協力をいただきお礼申し上げます。

さて、令和7年8月15日付けで提出のありました表題の件について、下記のとおり回答いたします。

記

東伊豆町ではコロナ禍以降、町全体の出生者数が年間20人程度で推移しています。

少子化が進む中、東伊豆町全体で子供たちの未来を考え、効果的でより良い教育環境を整えるため、教育方針や集団での適正な規模や配置等について、学校教育環境整備委員会に諮問し何回となく協議を重ねていただきました。その中で教育の考え方として幼小中（高）一貫的な教育を進めていくことが望ましい。場所は、町内各学校施設の現状と立地状況等を検討し、敷地面積や通学バス進入路等の整備可能な周辺地があること、通学に係る伊豆急行各駅の周辺状況、町内各所からの通学距離、町立図書館との連携のし易さ等を総合的に勘案し、熱川中学校を活用することが望ましいとの答申をいただき、町としても最適と判断したものです。また一貫性ある教育を進めるに当たっては、これまで以上に、東伊豆町の歴史や文化を学び、自然に触れる学習活動などに計画的・継続的に取り組み、ふるさとに愛着と誇りを持つ子を育てたいと考えています。

ご指摘いただいた通学手段につきましても子供たちにとってより安全な通学方法を検討し対策を施しながら、町全体で子供たちにとってより良い教育環境整備を図っていきたいと考えています。

また、人口減少・少子化が進む町にとって、こどもや町民の方が町内を自由に移動しやすい交通環境を整える街づくりを実施すると共に、跡地には賑わいを作り出せるよう再活用を検討していきます。

担 当 教育委員会事務局
電 話 95-6207